



1類	エボラ出血熱・ペスト
2類	結核・SARS
3類	コレラ・腸チフス
4類	黄熱・狂犬病
5類	インフルエンザ・梅毒

新型コロナウイルスは2類相当

まん延防止等

1月21日
～2月13日

重点措置



「愛知県まん延防止等重点措置」の対策

県民	1 不要不急の行動の自粛	混雑した場所や感染リスクが高い場所を避けて
	2 県をまたぐ不要不急の移動自粛	まん延防止等重点措置区域の適用都県への移動を控えて
	3 高齢者等への感染拡大の防止	高齢者・基礎疾患のある方に配慮
	4 基本的な感染防止対策の徹底	感染しない、感染させない
事業者	5 飲食店等に対する営業時間短縮等の要請	措置区域 【認証店】期間を通して1又は2を選択 ①5時～20時(酒類提供禁止) ②5時～21時(酒類11時～20時) 【その他の店】 5時～20時(酒類提供禁止)
	6 飲食店等以外に対する感染防止対策の要請	入場者の整理誘導、マスク着用の周知等
	7 業種別ガイドラインの遵守等	全ての施設で感染防止対策を自己点検
	8 生活・経済の安定確保に不可欠な業務の継続	十分な感染防止対策を講じつつ、業務を継続
	9 テレワークの推進等	テレワークやローテーション勤務の推進
	10 職場クラスターを防ぐ感染防止対策	休憩室等での注意周知
	11 事業継続計画(BCP)の点検・策定	事業継続計画(BCP)を点検し、未策定の場合は早急に策定
その他	12 イベントの開催制限等	感染防止安全計画策定イベント 収容率100%かつ人数上限20,000人
	13 行事等での対応	人と人の距離の確保、大声での会話自粛
	14 学校等での対応	時差登校、分散登校の検討、対外的な練習試合等の自粛
県	○ワクチンの3回目接種の加速化	○あいスタ認証店の普及

1月臨時愛知県議会開会へ

新型コロナウイルスのオミクロン株による感染の急拡大により愛知県は岐阜、三重と歩調を合わせ国にまん延防止等重点措置を国へ要請し、1月21日から2月13日(国府宮はだか祭!)まで実施することとなりました。議会ではこれを受けて20日に理事者側から会派毎に連絡調整会議で議案(第1号議案令和3年度一般会計補正予算(第22号)…議案番号は年度ではなく年でカウントが始まります)説明及び質疑を行いましたので概要をご報告します。臨時議会は1月24日に開会しますが可決する予定です。補正額337億円は全てコロナ関連で今年度合計5,952億円、累計1兆491億円となります。

●感染防止対策協力金 327.5億円

まん防の1月21日から2月13日までの24日間の協力金(事務費6億円弱含む)で対象は全ての飲食店等、**あいスタ認証店**は**①酒類提供8時までで営業午後9時までの時短協力の場合2.5万円～7.5万円**、又は**②酒類提供なしで午後8時までの時短協力の場合3万円～10万円**を選択、**その他の店は③と同じ等**

***経産省の個人事業主等への上限30万円等の事業復活支援金もご利用ください!**

10月18日に警戒領域に下がったあと10月31日11月22日と制限の緩和が続きましたが、1月8日には会食4人(ワクチン・検査パッケージ活用)の場合は5人以上も可など制限強化、1月15日には厳重警戒へ上げましたが、オミクロン株の急激な感染拡大を受け岐阜・三重と歩調を合わせまん延防止等重点措置となりました。入院病床の圧迫には至っていませんがオミクロン株の性状が不明確の中、感染者の多くは自宅療養とならざるを得ない状況です。素人ながら負担の問題はありますが現実的に感染症法の2類から5類へ移行できればと思います。



●飲食店等に対する見回り活動 2.1億円

まん防の適用に伴い県内の飲食店等に対し営業時間の短縮や酒類の提供、感染防止対策の徹底など4万店舗を集中的に見回り

●定期航路事業者支援 0.2億円新規

燃油価格高騰のなか運航継続の名鉄海上観光船、伊勢湾フェリー等を支援

●県立高校のICT環境の整備推進 7.2億円

県立高校の全ての生徒に1人1台のタブレット端末を整備するため、これまでの6万2千台に加え今回未整備校70校に約5万5千台をリース、合わせてICT教育の推進体制強化のため4月からはICT教育推進課を新設

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

感染が急拡大する中17日に特別委員会が開催されました。(開催中に3知事での国へのまん延防止要請が決定)

●**第6波における医療提供体制等の整備**では最大確保病床2,534床(うち重症者用230床)、宿泊療養施設1,628室、保健所の機能強化、自宅療養者への医療提供体制、1日約58,000件の検査体制などが、

●**ワクチン3回目接種体制**では接種間隔6か月とした前倒し接種など(18日付で一般者も更に1か月繰り上げ2月から実施に)、●**ワクチン・検査パッケージ制度を適用した事業**(まん防では適用中止に)について説明を受けました。

●第5波(7/21～12/27)

感染者 54,491人
1日最大 2,339人(8/27)
軽症者等 95.0%
最大入院者 1,081人
死者 149人

●第6波(12/28～1/20 現在一部1/19)

感染者 7,349人 **1/20 3千超**
20歳代 32% 10歳代 17% 10歳未満 8%
1日最大 3,074人(過去最大) **1/18 2千超**
軽症者等 %
最大入院者 277人 死者 5人 **1/13 1千超**
施設入所 775人
自宅療養 9,858人
調整中 3,074人
退院等 2,444人 **12/28 10人**



質疑ではオミクロン株感染疑い466人のうち388人、83.3%が2回接種済のブレイクスルー感染や10歳未満の感染拡大などについて、鈴木からはあいスタ認証の約3万店舗のうちワクチン・検査パッケージ登録が約5千に止まっている点、県民に登録店での5人以上の会食可能が分かりづらい点を指摘しましたが…中止に!

STEP 21 県政

2022R04



REPORT

新政あいち県議団

すずき純

鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島11-24
Tel 24-6600 Fax 23-0791 juneri@na.commufa.jp

2201

大村知事から各市町村へワクチン3回目接種券の早期発送をお願いしていますが一般高齢者、基礎疾患を有する方はかかりつけ医では接種券なしで接種可能ですので宜しくお願いします



■農林水産委員会県内調査

農林水産委員会の県内調査が実施され愛知県畜産総合センターでは施設の老朽化、生産性や防疫機能の向上、ブランド化の推進(保護)、周辺環境への配慮を目的に約 11 億円をかけて敷地内に移転整備する来春完成予定の新豚舎を、西三河農林水産事務所からは縮小するアサリ漁を補填する意味も持つシングルシールド方式によるマガキ養殖実証試験を、ウナギ養殖場では水産試験場が取組む大型雌ウナギ(通常の2~2.5倍500グラム)生産技術について調査しました。カキ・ウナギとも2023年度の事業化を目指しています。

PCR 等検査無料化事業の稲沢市登録事業者:スギ薬局祖父江店、ウエルシア薬局稲沢前田店、いしはら内科・循環器内科クリニック、いなほ薬局

■新政あいち県議団重点事業等調査研究会

例年の研究会が1月7日から13日まで開催され理事者側から説明・意見交換しました。 1月21日現在

●地域高規格道路名岐めいぎ道路

リニア開業を見据え2017年度に国から全長10kmのうち優先整備区間(富士3交差点~一宮木曾川IC間)が公表され、20年には国道22号の立体構造等が了承、21年には都市計画の基本方針等が決定、現在都市計画・環境アセスなどに向け調査中で新規事業化を目指しています。



●稲沢市成人式

これまでの、そしてこれからの人生の節目となる成人式がコロナ対策を実施して昨年に続き2部制で挙行され皆さんと共に新成人の門出をお祝いすることができました。140年ほど続いた20歳の成人ですが、今年の4月から民法上の成人は18歳となります。ただし稲沢市では20歳のお祝いとして続ける様です。



●稲沢市消防出初式

恒例の稲沢市消防出初式が規模などを縮小、コロナ対策を実施して挙行されました。式典では代表して日本消防協会表彰の近藤英樹副団長に表彰状が授与されました。常備消防の職員、消防団(写真下、謝辞を述べる小沢実団長)の皆さんには本年も稲沢市の安全安心にご尽力頂きますよう宜しくお願いします。



●稲沢警察署感謝状贈呈式

驚野新署長のもと2年ぶりに感謝状贈呈式が開催され、大塚北安全安心を守る会(栗本芳明様)の県警本部長伝達など感謝状が贈呈されました。昨年の刑法犯の認知件数は47件増の706件、交通事故の発生状況は重軽傷者10人増の476人、交通事故死者数は5人(県は37人減の117人(最小値、全国7位))。



●ヤングケアラー理解促進事業 0.06 億円

実施中の愛知県ヤングケアラー実態調査に続き2022年度から2024年度の3年間をヤングケアラーの社会的認知度向上に向けた集中取組期間としシンポジウムなど開催

連合愛知も取組ます!



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている

●ヤングケアラーのイメージ例 ©一般社団法人日本ケアラー連盟より(一部抜粋)

■稲沢市議会 1月臨時会から

稲沢市は18歳までの子育て世帯に子ども一人当たり10万円を支給する子育て世帯等臨時特別支援事業に加え下記の対象者にも10万円を支給(予算約14億円)します。

- 所得制限により国の支給対象外の世帯(子ども一人当たり10万円)
- 昨年9月以降に離婚して給付金を受け取れなかったひとり親世帯(子ども一人当たり10万円)
- 住民税非課税世帯(約1万5百世帯)及び家計急変世帯(約1千5百世帯)には1世帯当たり10万円

STEP21



山本昌氏の野球殿堂入りのニュース紙面に笑顔の写真と共に大きく海部元首相死去の報、文部大臣の時に義父の関係で私達の結婚式にご臨席頂いたのを思い出します。自分達が今あるのも先達のご苦勞のお陰と改めて感謝です。本年も宜しくお願いします。未来へつづくまちづくりへ一生懸命動きます。愛知県議会議員 鈴木じゅん

愛知県新型コロナウイルス感染症

まん延防止・第6波の感染拡大の抑制に向け

まん延防止等 重点措置

愛知県全域 1月21日～2月13日

I. 県民の皆様へのお願い

① 不要不急の行動の自粛

○外出する場合は、**混雑した場所**や**感染リスクが高い場所**を避けて

② 県をまたぐ不要不急の移動自粛

○不要不急の**移動自粛**
○特に**まん延防止等重点措置の区域**

「愛知県まん延防止等重点措置」の対策

県民	①不要不急の行動の自粛	混雑した場所や感染リスクが高い場所を避けて	
	②県をまたぐ不要不急の移動自粛	まん延防止等重点措置区域の適用都県への移動を控えて	
	③高齢者等への感染拡大の防止	高齢者・基礎疾患のある方に配慮	
	④基本的な感染防止対策の徹底	感染しない、感染させない	
事業者	⑤飲食店等に対する営業時間短縮等の要請	措置区域	[認証店] 期間を通して①又は②を選択 ①5時～20時(酒類提供禁止) ②5時～21時(酒類11時～20時) [その他の店] 5時～20時(酒類提供禁止)
	⑥飲食店等以外に対する感染防止対策の要請	入場者の整理誘導、マスク着用の周知等	
	⑦業種別ガイドラインの遵守等	全ての施設で感染防止対策を自己点検	
	⑧生活・経済の安定確保に不可欠な業務の継続	十分な感染防止対策を講じつつ、業務を継続	
	⑨テレワークの推進等	テレワークやローテーション勤務の推進	
	⑩職場クラスターを防ぐ感染防止対策	休憩室等での注意周知	
その他県	⑪事業継続計画(BCP)の点検・策定	事業継続計画(BCP)を点検し、未策定の場合は早急に策定	
	⑫イベントの開催制限等	感染防止安全計画策定イベント	収容率100%かつ人数上限20,000人
	⑬行事等での対策	人と人の距離の確保、大声での会話自粛	
	⑭学校等での対応	時差登校、分散登校の検討、対外的な練習試合等の自粛	
	○ワクチンの3回目接種の加速化	○あいスタ認証店の普及	

③ 高齢者等への感染拡大の防止

- 高齢者・基礎疾患**のある方に配慮
- 感染リスクの高い施設**を利用しない

④ 基本的な感染防止対策の徹底

- 感染しない・させない**
- 4人まででマスク会食**
- あいスタ認証店**や**安全・安心宣言施設**を利用
- 「**三つの密**」は**避けて**



Ⅱ. 事業者の皆様へのお願い

⑤-1 飲食店等に対する営業時間短縮等の要請

地域	措置区域	
期間	1月21日(金)～2月13日(日)	
対象	全ての飲食店等	
区分	あいスタ認証店	その他の店
内容	期間を通して、 以下の①又は②を選択 (当初の選択は変更できません) ① 5時～20時 (酒類提供禁止) ② 5時～21時 (酒類提供:11時～20時)	5時～20時 (酒類提供禁止)

⑥ 飲食店等以外に対する感染防止対策の要請

期間	1月21日(金)～2月13日(日)・24日間	
主な対象施設 (1,000㎡超)	主な要請内容	
劇場、観覧場、映画館、演芸場 等 集会場、公会堂 等 展示場、貸会議室、文化会館 等 ホテル又は旅館 (集会の用に供する部分) 体育館、スケート場、水泳場、 スポーツクラブ、ヨガスタジオ 等 博物館、美術館、科学館 等 マージャン店、パチンコ屋 等 個室ビデオ店、射的場 等 スーパー銭湯、ネイルサロン等 大規模小売店、ショッピングセンター等 スーパー、コンビニ 等	<ul style="list-style-type: none"> ・入場をする者の整理等 ・入場をする者に対するマスクの着用の周知 ・感染防止措置を実施しない者の入場の禁止 ・会話等の飛沫による感染の防止に効果のある措置 ・入場整理等の実施状況をHP等を通じて周知 	

⑤-2 時短要請に係る協力金

区分	あいスタ認証店 (以下の①又は②を選択)		その他の店
営業時間の短縮	① 5時～20時 (酒類提供禁止)	② 5時～21時 (酒類提供:11時～20時)	5時～20時 (酒類提供禁止)
協力金 (1店舗1日あたり)	【中小企業】 売上高に応じて 3～10万円	【中小企業】 売上高に応じて 2.5～7.5万円	【中小企業】 売上高に応じて 3～10万円
	【大企業】 売上高減少額の4割(最大20万円)		
主な要件	・あいスタ認証店の認証ステッカーを掲示		・「安全・安心宣言施設」のPRステッカーとポスターを掲示 ・業種別ガイドラインを遵守

Ⅳ. 県の取組

- 感染不安を感じる無症状者等を対象に無料でPCR等検査を実施
- ワクチンの3回目接種を国、市町村、医療機関、医師会等関係団体、企業・大学等と緊密に連携し、希望者全てに円滑に推進
- 3回目接種の接種間隔を6か月に前倒すとともに、医療従事者等に対する接種券なしの接種を積極的に推進
- 飲食店等の感染防止対策の向上を図るため、あいスタ認証制度の普及

